

専門知とコモンセンス



福島原発事故によって私たちは多くの問題を突きつけられています。その一つに、専門知(専門的知識とそれに基づく判断能力)への信頼の失墜があります。しかし、事故処理という具体的な課題も含め原子力の今後をどうするかという意思決定は、専門家の知識や技術、それに基づく意見や判断を抜きにしては行えません。

専門知への信頼が揺らぐ中で、専門知を抜きにして態度を決めることができないという自己矛盾的な状況は、原子力だけでなく、食の安全、大気温暖化、生殖医療などなど、様々な分野に現れています。

明快な答えを私がおもっているわけではありませんが、専門知の社会的な役割と責任、専門知を使いこなすために市民の側がしなければならないことなど、考えていることとお話して、聴講する皆さんと議論したいと思います。

中村孔一名誉教授より

日時：6月19日(木) 2時限目 10:40~12:10

会場：和泉図書館ホール(1階)

講師：中村 孔一 明治大学名誉教授
理学博士(東京大学・物理学専攻)

コーディネーター：山泉 進 (法学部教授)
勝田 忠広 (法学部准教授)

予約不要：学部生の受講可
学外の方も受講可能です。事前にお電話ください。
教養デザイン研究科 TEL：03-5300-1529